

受験番号	
------	--

2023年度 岡山大学特別支援教育特別専攻科入学試験

問題用紙	小論文	1 / 1
------	-----	-------

平成 29 年改訂小・中学校学習指導要領総則，平成 30 年改訂高等学校学習指導要領総則において，学習評価の充実に関する項目が新たに加えられました。具体的には，指導と評価の一体化¹を実現させるために，以下のような配慮点が示されています。（以下は，小学校学習指導要領総則の例ですが，中学校学習指導要領総則，高等学校学習指導要領総則の記述も同旨です。）

(1) 児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し，学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また，各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から，単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して²，学習の過程や成果を評価し，指導の改善や学習意欲の向上を図り，資質・能力の育成に生かすようにすること。

(2) 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性³が高められるよう，組織的かつ計画的な取組を推進するとともに，学年や学校段階を越えて児童の学習の成果が円滑に接続されるように工夫すること。

出典：小学校学習指導要領第 1 章総則 第 3 教育課程の実施と学習評価 2 学習評価の充実
下線及び下線番号は出題者

問 1 下線部 1 について，「指導と評価の一体化」とは何かを説明しなさい。

問 2 下線部 2 について，「単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して」とありますが，評価の場面や方法の工夫例を 1 つ挙げなさい。

問 3 下線部 3 について，学習評価の妥当性や信頼性を高めるために必要な事柄について，説明しなさい。